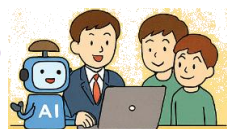


高校における生成AI活用リーフレット

1 目的

生成AI（例：Copilot、Geminiなど）の教育現場での活用にあたり、児童生徒の情報活用能力の育成と、安心・安全な学びの保障を両立するための基本的な考え方と留意点を示す。



2 基本方針

- 生成AIは、児童生徒の思考力・表現力・創造力を高めるツールとして活用できる。
- 一方で、誤情報や著作権、個人情報取り扱いなどのリスクもあるため、適切な指導とルールの下での活用が必要。
- 教職員自身が生成AIの特性を理解し、指導に活かすことが重要。



3 活用の原則

- 1.目的を明確にすること
学習活動のねらいに応じて、生成AIを「何のために」、「どのように」使うかを明確にする。
- 2.児童生徒の主体的な学びを支援すること
単なる答えの取得ではなく、思考の補助やアイデアの発展に活用する。
- 3.情報モラル・メディアリテラシーと一体で行うこと
AIの限界やリスクを理解させ、適切な使い方を指導する。
- 4.個人情報や機微な情報を入力しないこと
実名、住所、学校名、顔写真、成績情報などの入力禁止。
- 5.県域教育用アカウントでログインして、使用する。

4 教職員の役割

- 生成AIの活用に関する研修を受け、校内での活用方針を共有する。
- 授業での活用にあたっては、児童生徒の発達段階に応じた指導を行う。
- 活用状況や課題を記録し、校内外で共有・改善を図る。

5 高校では事前に

- 自律的な活用を促す一方で、リスク管理の視点を持たせること。
- レポートや課題での活用時には、出力内容の出典や根拠を明示するよう指導すること。

6 指導のポイント

- 生成AIの出力を鵜呑みにせず、批判的思考を持って検証する姿勢を育てること。
- 進路指導や探究活動など、個性の高い場面での活用の際は、個人情報の扱いに十分注意すること。
- 利用履歴や出力内容の記録を残し、振り返りに活用すること。



7 参考動画

CopilotとGeminiについて、初歩的な使用方法を解説した動画を作成しました。
(YouTubeに限定公開でアップしてあります。)

Copilot
(教師用)



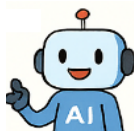
Gemini
(教師用)



Gemini
(児童・生徒用)



- 情報化社会の新たな問題を考えるための教材
(文部科学省)



- 上手にネットと付き合おう！
安心・安全なインターネット
利用ガイド（総務省）



このマークの2次元コードをクリックしても、リンク先へジャンプします。

イラストは、Microsoft Copilotで作成